

うわまちStyle ～放射線科～

診療放射線科・高精度放射線治療センター発行
発行責任者：岩澤孝昌
(副病院長兼医療連携室責任者)

2022.01

新年 明けましておめでとうございます



岩澤 孝昌 副病院長
(医療連携室責任者)

横須賀市立うわまち病院の地域連携室担当の岩澤です。日頃から当院の病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。また高度医療機器共同利用システムにおいて、当院の放射線科診断モダリティーをご利用いただき誠に感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進む中、コロナ自粛の影響で先延ばしとなっていた基礎疾患の定期フォローや新規の症状に対する精査を行う社会的環境が整ってきております。当院放射線科は、患者さんの個別の病態に合わせたテーラーメイドな画像診断を駆使し、撮像する際には可能な限り低線量となるように配慮しております。また、使用するモダリティーでの被ばく量を個別に医師から説明し、安全性に配慮していることを患者さんにもよく説明をさせていただいております。今後とも当院放射線科および高度放射線治療センターをよろしく願いたします。

機器紹介Vol.2

当院のCT装置はCanon製(旧東芝)320列CTと、PHILIPS社製64列CTの2台体制で検査を行っております。検査の予約は、1枠10分を基準に1日約60枠あります。また、当日オーダーを含めた1日平均件数は75件です。CTの医療連携件数は月平均30件ほどで、当日検査もお電話一本で行えるように体制を作っております。

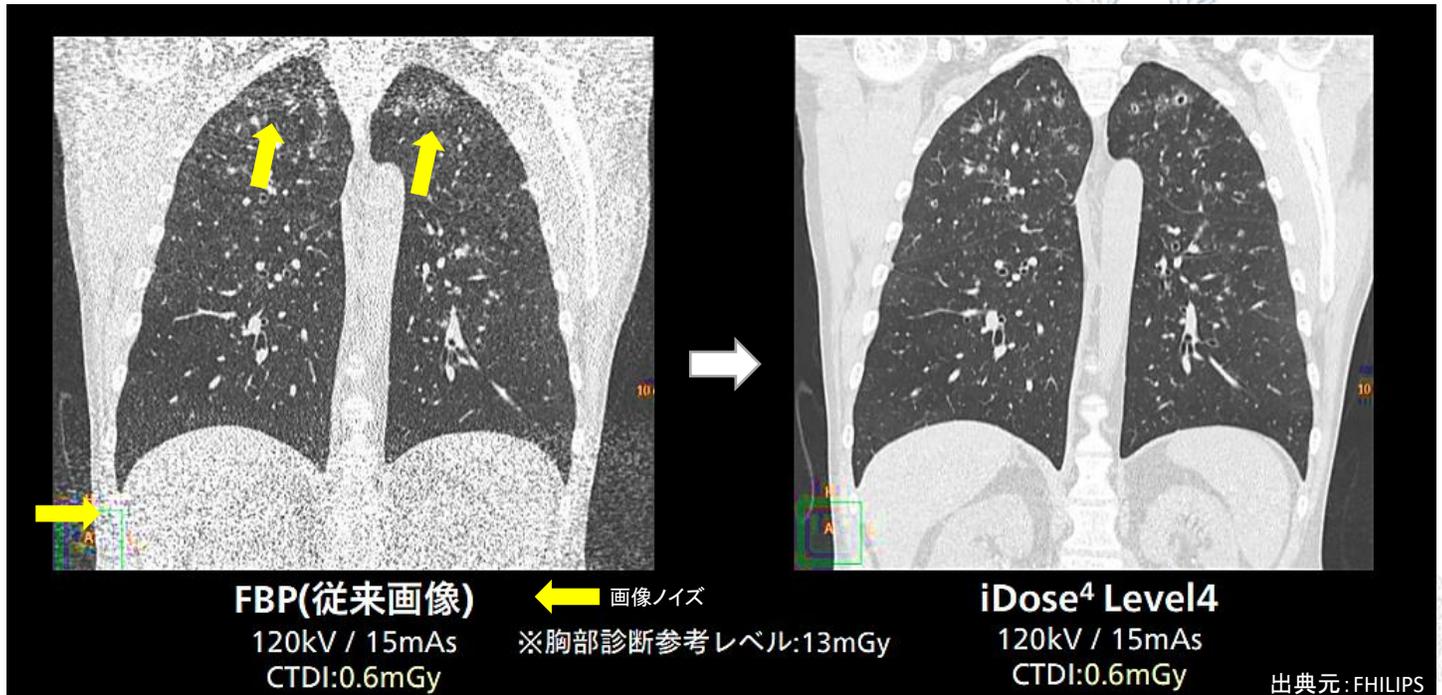


CT室前廊下の大扉での感染対策

感染対策として、CT装置全体の養生を行い、寝台には感染防護用のシートを用いています。またCT室前の廊下は、大扉で院内廊下と区域分けを行っており、待合でお待ちいただく間も感染対策をとっております。

当院におけるCT検査の取り組み

当院のCT装置は、Hybrid逐次近似画像再構成のiDose4を搭載しており、被ばく線量の低減と高画質の両立を高いレベルで実現します。全ての部位・検査でHybrid逐次近似画像再構成「iDose4」を使用することが可能です。



Results from case studies are not predictive of results in other cases. Results in other cases may vary.

また、放射線検査を受ける全ての患者様の放射線被ばくデータを一括管理するために、線量管理ワークステーション「DoseXross」を導入しました。このデータを、診断参考レベル(diagnostic reference level:DRL)と比較を行い、最適な線量となるよう調整を行っています。小児のCT検査では、上限線量を診断参考レベル以下の値に設定しているため、必要以上に被ばくする心配はありません。

患者様から、放射線被ばくに関し不安やご質問などがありましたら、当院でも説明をさせていただきますので、患者様へその旨のご案内をお願い致します。

CT検査は、検査時間も比較的短く、画像診断を行う中で無くてはならない重要な検査となっています。これからも当院では、患者様に優しいCT検査でありながら、画像診断における確信度を向上させ、病変の早期発見に取り組んでいきます。

当日の医療連携もお電話で受け付けていますので、ぜひご利用ください。

日々診療でご多忙中恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご予約・お問い合わせ(医療機関向け)

放射線科HP



CT・MRI検査など緊急の場合は、電話にてご相談ください。個別に対応させていただきます。

お気軽にお問い合わせください。

連絡
受付時間

直通TEL: 平日8:30~19:00・土曜8:30~12:30

直通FAX: 24時間対応可能